

## 環境指標の状況について

山梨県環境基本計画(平成17年2月策定)においては、56項目の環境指標を設定しています。平成24年度末時点における、環境指標の状況(現状値)は次のとおりです。

### 1 全般的な状況

指標の状況を、すでに目標を達成しているもの、指標が基準値より改善しているもの、基準値から横ばいであるもの、基準値から改善していないもの、事業を廃止したものに分類した結果は、右表のとおりです(詳細は「3 環境指標一覧」のとおり。)

推進状況の分類	項目数 (前年度実績)
目標を達成しているもの	29 (29)
指標が改善しているもの	17 (18)
指標が横ばいであるもの	1 (1)
指標が改善していないもの	8 (7)
事業を廃止したもの	1 (1)
計	56 (56)

目標を達成している指標は29項目(51.8%)と前年

度と同数でしたが、指標が改善していないものが8項目(14.3%)と前年度から1項目増加しました。

指標が横ばいだった項目(1項目)は、大気汚染に係る環境基準達成測定局数(光化学オキシダント)(指標番号20)で、指標が改善していない項目(8項目)は、廃棄物に関する指標(指標番号3,4,6)、自然監視員委嘱数(指標番号9)、環境科学研究所の施設利用や研究テーマに関する指標(指標番号46,47,49)及び新規林業就業者数(指標番号53)でした。

指標が横ばい、あるいは改善していないものについては、引き続き原因の分析や施策事業の見直しを進め、目標の達成を図ることとします。

### 2 主要な指標の動向

- (1) 廃棄物については、一般廃棄物の排出量は基準年よりも改善しているものの、産業廃棄物は、総排出量・最終処分量が基準年を上回っています。これは、リニア工事の影響により汚泥の排出量が増加したことが主な要因と考えられます。今後も、引き続き再生利用や減量化を進めるとともに、普及啓発などの取組をとおして、廃棄物の発生抑制等に係る施策を総合的、計画的に推進していきます(指標番号1~6)。
- (2) 大気環境については、光化学オキシダント<sup>1</sup>を除き、全ての項目で環境基準を達成しました。引き続き、大気汚染状況の常時監視や工場・事業場の監視指導等を進めます(指標番号16~20)。
- (3) 水質については、湖沼における環境基準達成地点数は、全ての地点(5地点)で環境基準を達成しましたが、河川においては、全22地点中21地点での達成にとどまりました。引き続き、工場・事業場における適切な排水処理の徹底を図るとともに、下水道や浄化槽といった生活排水処理施設の整備等を推進します(指標番号23,24)。

<sup>1</sup> 1年間で昼間の1時間値が環境基準を超えた場合が1回でもあると非達成となる。全国で達成した測定局は1,183局中6局(H23)

### 3 環境指標一覧

基準値、現状値及び目標値のかつこ内は年度。かつこ書きがない目標値は計画最終年度（H25）の目標。

	指標の項目	基準値	現状 (平成24年度末)	目標値	推進 状況	備考(平成24年度末)
1	一般廃棄物総排出量	328千t(H20)	316千t(H23)	293千t(H27)	↗	
2	県民1人1日当たりごみ排出量(資源回収されるものを除く。)	984g/日(H20)	961g/日(H23)	897g/日(H27)	↗	
3	一般廃棄物リサイクル率	18.5%(H20)	17.5%(H23)	25%(H27)	↘	東日本大震災後の電力需給対策(節電)による再生利用される溶融スラグの減少等が要因。
4	産業廃棄物総排出量	1,841千t(H20)	1,859千t(H23)	1,764千t(H27)	↘	リニア工事や下水道の延伸に伴う鉱業の排出量(汚泥)が増えたことにより総排出量が増加。
5	産業廃棄物再生利用量	920千t(H20)	899千t(H23)	882千t(H27)	↗	
6	産業廃棄物最終処分量	144千t(H20)	214千t(H23)	105千t(H27)	↘	鉱業(鉱業、採石業、砂利採取業)の自己最終処分量が増えたことにより最終処分量が増加。
7	自然環境保全地区面積(自然造成地区は除く。)	3,650ha(H15)	3,650ha(H24)	3,650ha		
8	鳥獣保護区等指定面積	77,227ha(H15)	74,795.9ha(H24)	74,795.9ha(H28)		
9	自然監視員委嘱数	216人(H16)	173人(H24)	250人	↘	募集・再募集を行っているが定員に満たない状況。
10	山岳レインジャーの延べ人数	312人(H19)	228人(H24)	228人		
11	緑サポーター登録者数	60人(H15)	185人(H24)	360人	↗	
12	自然公園等利用者数	3,381万人(H14)	3,596万人(H23)	3,653万人	↗	
13	「森林文化の森」パートナー数	5団体(H15)	15団体(H25.4月時点)	15団体		
14	富士山山小屋トイレ整備率	33.3%(H15)	100%(H24)	100%		
15	河川水辺環境整備箇所数	67箇所(H15)	82箇所(H24)	90箇所	↗	
16	大気汚染に係る環境基準達成測定局数(光化学オキシダントのみ短期的評価、その他は長期的評価)	二酸化硫黄3測定局中3測定局(H15)	3測定局(H24)	3測定局		
17		一酸化炭素2測定局中2測定局(H15)	2測定局(H24)	2測定局		
18		浮遊粒子状物質12測定局中12測定局(H15)	12測定局(H24)	12測定局		
19		二酸化窒素11測定局中11測定局(H15)	11測定局(H24)	11測定局		
20		光化学オキシダント10測定局中0測定局(H15)	0測定局(H24)	達成率の向上を図る。	→	原因物質の濃度は低減傾向にあり、引き続き大気汚染防止法等に基づく原因物質の排出規制等の対策を進める。全国の達成率は0.5%(H23)。
21	低公害車導入台数(軽自動車を除く。)	49,940台(H15)	187,701台(H23)	増やす。		172,251台(H22)
22	エコドライブ宣言車両率	12.3%(H15)	20.1%(H24)	16%		
23	水質汚濁に係る環境基準達成地点数	河川22地点中18地点(H15)	21地点(H24)	22地点	↗	
24		湖沼5地点中3地点(H15)	5地点(H24)	5地点		
25	生活排水クリーン処理率	63.9%(H15)	78.1%(H24)	82%	↗	
26	ダイオキシン類の環境基準達成地点数(大気、公共用水域、地下水質及び土壌)	すべての調査地点で達成(H15)	すべての調査地点で達成(H24)	すべての調査地点で達成		
27	自動車騒音に係る環境基準達成率(昼夜間とも基準値以下)	(面的評価)73.6%(H15)	93.31%(H24)	達成率の向上を図ります。		
28	電線類地中化延長	38.1km(H15)	90.9km(H24)	78km		
29	国県指定文化財数	638件(H15)	670件(H24)	688件	↗	
30	市街地の人口1人当たりの身近な公園の整備面積	1.7㎡(H15)	2.13㎡(H24)	2.0㎡		
31	「緑の教室」受講者数	641人(H15)	1,071人(H24)	1,000人		
32	温室効果ガス総排出量	6,983千t-CO2(H17)	6,561千t-CO2(H22)	6,041千t-CO2(H24)	↗	
33	森林吸収源対策による森林の二酸化炭素吸収量	676千t-CO2(H17)	921千t-CO2(H24)	942千t-CO2(H24)	↗	

環境指標の状況について

基準値、現状値及び目標値のカッコ内は年度。カッコ書きがない目標値は計画最終年度（H25）の目標。

	指標の項目	基準値	現状 (平成24年度末)	目標値	推進 状況	備考(平成24年度末)
34	環境科学研究所における環境学習プログラム参加者数	18,547人/年(H15)	26,885人(H24)	19,000人/年		
35	やまなし森の教室参加人数	10,000人/年(H15)	16,478人(H24)	20,000人/年	↗	
36	学校林活動実施校数	23校(H14)	41校(H24)	46校	↗	
37	親子エコスクール参加者数	40人(H16)	-	80人	-	事務事業の見直しにより、新規事業である「環境学習における指導者派遣事業」(H21～)で所期の目的が達成できるため事業廃止。
38	環境科学研究所による学習指導者派遣回数	11回(H15)	68回(H24)	15回		
39	山梨環境科学カレッジ修了者数	24人(H15)	29人(H24)	24人		
40	環境学習指導者派遣回数	40回(H16)	67回(H24)	40回		H21から「環境学習指導者派遣事業」により、「環境アドバイザー」に代わって「やまなしエコティーチャー」としたため指標の項目を変更。
41	環境美化活動参加者数	370,647人(H14)	583,932人(H24)	400,000人		
42	土木施設環境ボランティア数	16団体(H15)	95団体(H24)	86団体(H26)		
43	人口10万人当たりのNPO法人数	10.6法人(H15)	45法人(H24)	40法人		
44	森林ボランティア団体数	18団体(H15)	84団体(H24)	50団体		
45	環境科学研究所来館者数	46,266人/年(H15)	47,919人(H24)	50,000人/年	↗	
46	環境情報センター利用者数	13,671人/年(H15)	6,661人(H24)	19,000人/年	↘	環境学習プログラムの参加者の情報センター利用率が低く、H19以来基準値を下回っている状況。
47	環境科学研究所における図書等貸出数	図書2,442冊、ビデオ679本(H15)	図書1,688冊、ビデオ308本(H24)	図書2,900冊、ビデオ760本	↘	環境情報センターの利用者数減少に伴い、図書等貸出数も基準値を下回っている。
48	やまなしの環境アクセス数	-	9,146件/年(H24)	12,000件/年	↗	
49	環境科学研究所研究テーマ数	27テーマ(H16)	25テーマ(H24)	27テーマ	↘	研究テーマの新陳代謝(新テーマ7、終了テーマ9)により2テーマの減となった。
50	環境研フォーラム、国際シンポジウム参加者数	130人(H16)	262名(H24)	130人		
51	富士山周辺の環境美化活動参加者数	29,000人/年(H15)	38,010人/年(H24)	30,000人/年		
52	富士山スバルラインのマイカー利用率	33%(H23)	29%(H24)	前年より低くする。		
53	新規林業就業者数	41人(H15)	30人(H24)	50人	↘	H21,22年には目標値を達成し、過去2年の新規就業者の定着率も60%程度で推移していることから、事業者が新規採用を控えていることが減少の原因と考えられる。
54	水源の森づくり面積(育成複層林面積)	8,000ha(H15)	16,659ha	17,000ha	↗	
55	エコファーマー認定者数	2,080人(H15)	7,529人(H24)	4,000人		
56	甲斐のこだわり環境農産物認証件数	22件(H15)	23件(H24)	年間100件	↗	

推進状況の凡例

	目標を達成しているもの
↗	指標が改善しているもの
→	指標が横ばいであるもの
↘	指標が改善していないもの
-	事業を廃止したもの